

観光振興特別委員会資料



- 1 海水浴場の開設について
- 2 蕪島地区物産販売施設について
- 3 みちのく潮風トレイルについて
- 4 八戸市観光統計について
- 5 VISITはちのへについて

1 海水浴場の開設について

1. 海水浴場水質等調査の結果について

(1) 調査日 平成31年4月24日及び令和元年5月9日(午前・午後各1回)

(2) 水質判定結果

水浴場名	評価項目				判定
	ふん便性大腸菌群数	油膜の有無	COD	透明度	
白浜海水浴場	<2個/100mL (全調査日において検出下限未満)	なし	1.5mg/L (1.3~1.6)	1m以上	適(水質AA)
蕪島海水浴場	21個/100mL (2~64)	なし	1.9mg/L (1.7~2.2)	1m以上	適(水質A)

※評価項目の結果は、調査対象水浴場ごとの平均値

※()内の数字は範囲を表示

2. 海水浴場の放射性物質濃度等の測定結果について

(1) 調査日 平成31年4月24日

(2) 結果概要

白浜海水浴場及び蕪島海水浴場において、表層の海水の放射性物質濃度及び砂浜の空間線量率を測定した。その結果、全ての水浴場において、海水の放射性物質は検出されず、砂浜の空間線量率についても、周辺の線量率と同程度であり、異常は認められなかった。なお、開設中にも調査を実施する予定。

3. 海水浴場の開設について

(1) 八戸市白浜海水浴場

①開設期間 令和元年7月8日(月)～8月28日(水)【52日間】

②運営 市から八戸市南浜漁業協同組合白浜漁業部会へ運営を委託(監視業務等)

(2) 八戸市蕪島海水浴場

①開設期間 令和元年7月20日(土)～8月21日(水)【33日間】

②運営 市から海水浴場運営委員会(※)へ運営を委託(監視業務等)

(※鮫観光協会、鮫町連合町内会、鮫浦漁業協同組合、鮫町振興会等)

(参考) 平成30年度実績

1. 白浜海水浴場

①開設期間: 平成30年7月6日(金)～8月26日(日)【52日間のうち遊泳可35日】

②入込数 : 24,393人 (一日の最高入込数4,100人[7月16日])

2. 蕪島海水浴場

①開設期間: 平成30年7月21日(土)～8月21日(火)32日間【31日間のうち遊泳可25日】

②入込数 : 25,869人 (一日の最高入込数3,000人[7月22日])

2 蕪島地区物産販売施設について

①概要

整備目的	地域の特産品や土産品等の販売のほか、休憩もできる施設として整備し、蕪島地区での利用者の滞在時間の延長、地域の賑わい創出及び地域経済の振興を目的とし、三陸復興国立公園の北の玄関口としてふさわしい魅力的な空間の整備を目指すもの。
建設地	八戸市大字鮫町字鮫86番地1（蕪島駐車場敷地内）
建築面積	255.05㎡（回廊部分を除いた建築面積 206.19㎡）
構造	木造平屋建て
導入する機能	物産販売、飲食提供、休憩スペース、トイレなど
運営方法	物産販売・飲食部分は公募により選定されたテナント事業者が運営
スケジュール	令和元年8月 工事着工（建築、電気、機械設備） // 愛称公募 10月 愛称決定 // テナント事業者公募 11月 テナント事業者決定 12月 施設完成 // 工事着工（外構） 令和2年3月 外構完成 4月 オープン

②完成予想図



③愛称の公募(予定)

観光客や市民の皆様にも末永く親しまれ、広く利用していただけるものとするため、愛称を公募します。

応募資格	市内に在住・通勤・通学している方または八戸市にゆかり、愛着のある方
愛称の条件等	<ul style="list-style-type: none"> ・「蕪島」のイメージとしてふさわしいもの ・親しみやすく覚えやすいもの ・他の名称や商標などに類似していないもの ・自作未発表のもの
募集期間	8月1日(木)～9月2日(月)
選考方法	選考会にて審査し、決定
賞・記念品	最優秀作品(1点)、優秀作品(数点) ※受賞者には記念品授与

3 みちのく潮風トレイルについて

○みちのく潮風トレイル全線開通記念式典

東北太平洋岸をつなぐ、1,025キロメートルの長距離自然歩道「みちのく潮風トレイル」が令和元年6月9日に全線開通し、宮城県名取市において記念式典が開催された。

※みちのく潮風トレイル

青森県八戸市から福島県相馬市までの4県28市町村にまたがり太平洋沿岸を一本の道でつなぐロングトレイル。

環境省が震災後、持続可能な地域づくりを目指すと共に、豊かな自然と地域の暮らしを未来に引き継ぐためのプロジェクトとして取り組んだ事業の一つ。

歩く文化を通して「自然と人間の共生」、「環境問題」への意識啓発、「東日本大震災の記憶」の継承を目指す。

【行事名】 みちのく潮風トレイル全線開通記念式典・シンポジウム
(主催:環境省、名取トレイルセンター運営協議会(会長:名取市長))

【日 時】 令和元年6月9日(日)
記念式典 :13時30分～14時45分(宮城県名取市文化会館)
シンポジウム :14時45分～17時00分(")



<市長挨拶>



<4県28市町村による開通PR>

- 【備考】
- ・八戸市から久慈市までの区間約100kmは、平成25年11月29日に先行開通。6月9日は、これまで開通していた751kmに加え、4区間計271kmが開通し、端数調整の3kmを合わせた、合計1,025kmの全線が開通したものの。
 - ・八戸市から岩手県洋野町までの区間については、サテライト施設である種差海岸インフォメーションセンターが情報発信等のサポートを行っている。
 - ・全線開通を記念し、下記のとおりウォークイベント等を開催する予定。
種差海岸ジオめぐりトレッキング(9月～10月、VISITはちのへ主催)
種差海岸インフォメーションセンター開館5周年記念トレッキングツアー(7月14日、環境省主催)
 - ・上記ウォークイベント実施のほか、おもてなしの機運醸成など、地元の受入体制充実のための取組を検討中。

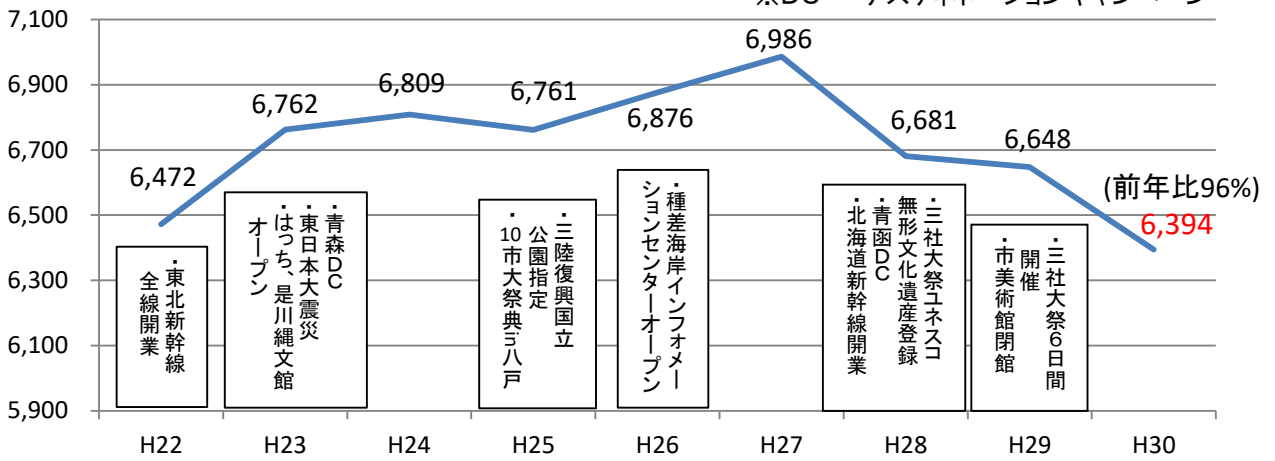
4 八戸市観光統計について

年間統計

※平成30年は速報値

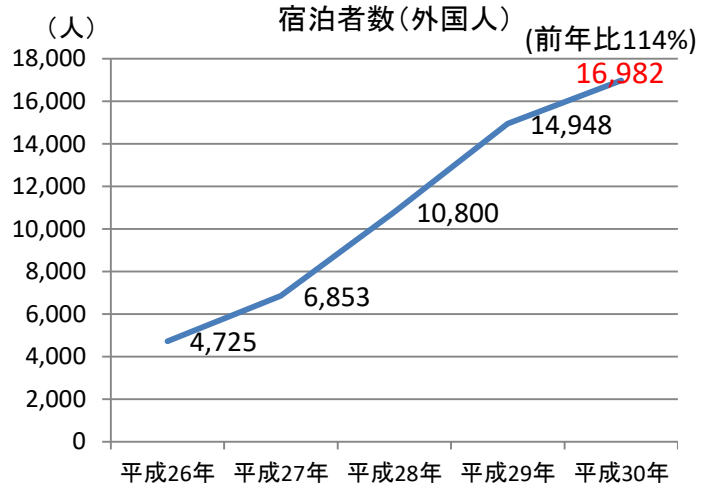
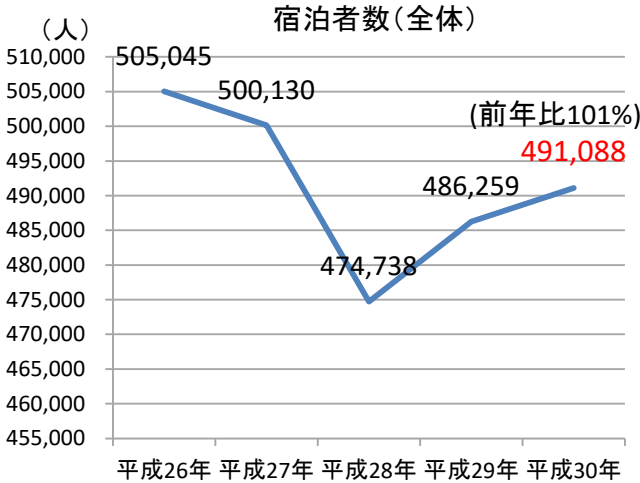
○観光入込客数（観光地点入込で行催事・イベント入込は含まず）

(千人)

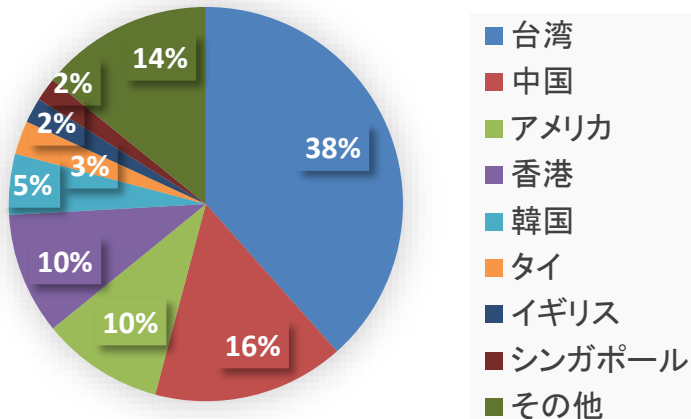


○宿泊者数

※八戸ホテル協議会調べ（市内18宿泊施設 ※平成26・27年は20宿泊施設）



平成30年 外国人宿泊者 国別内訳

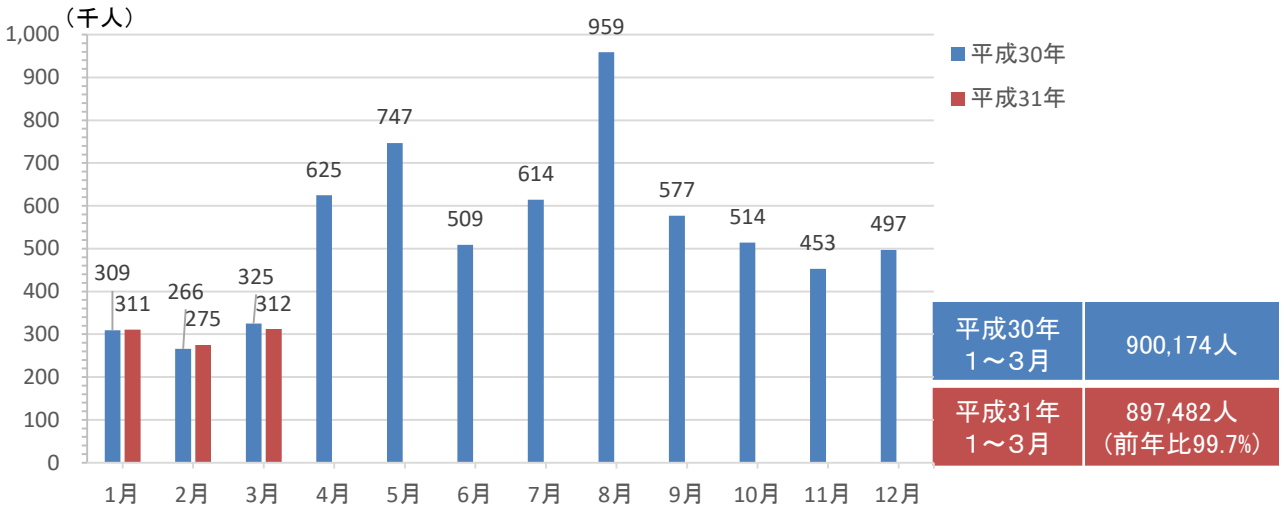


4 八戸市観光統計について

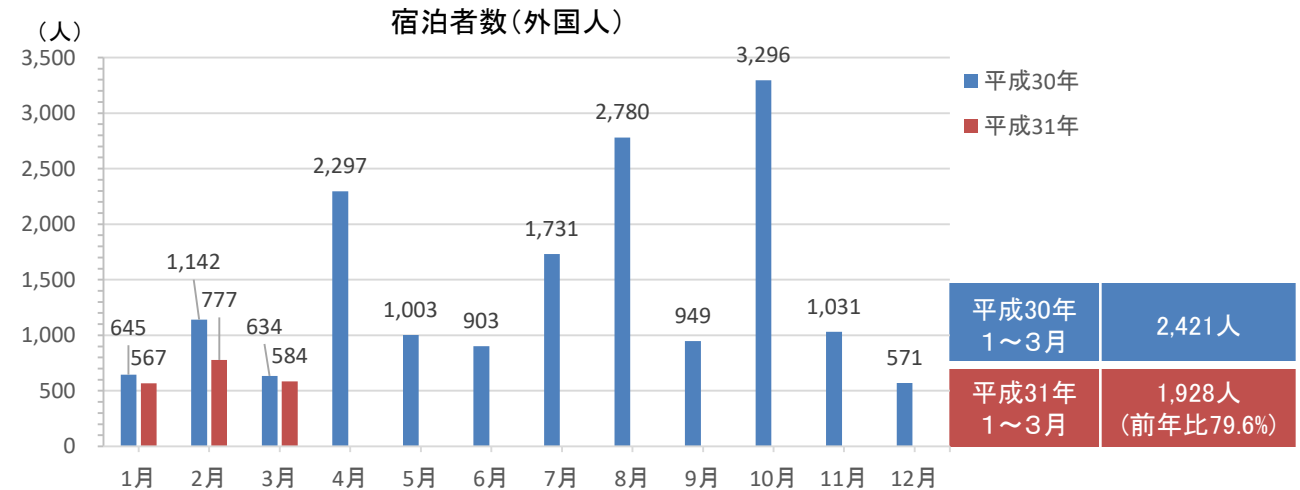
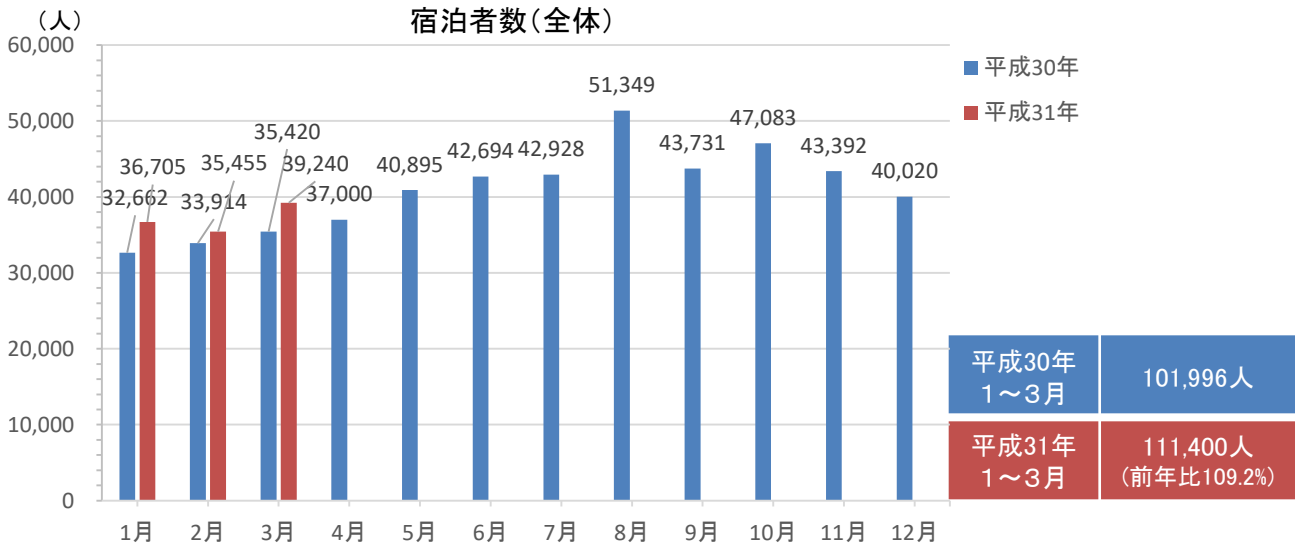
月間統計

※速報値

○観光入込客数（観光地点入込で行催事・イベント入込は含まず）



○宿泊者数 ※八戸ホテル協議会調べ（市内18宿泊施設）



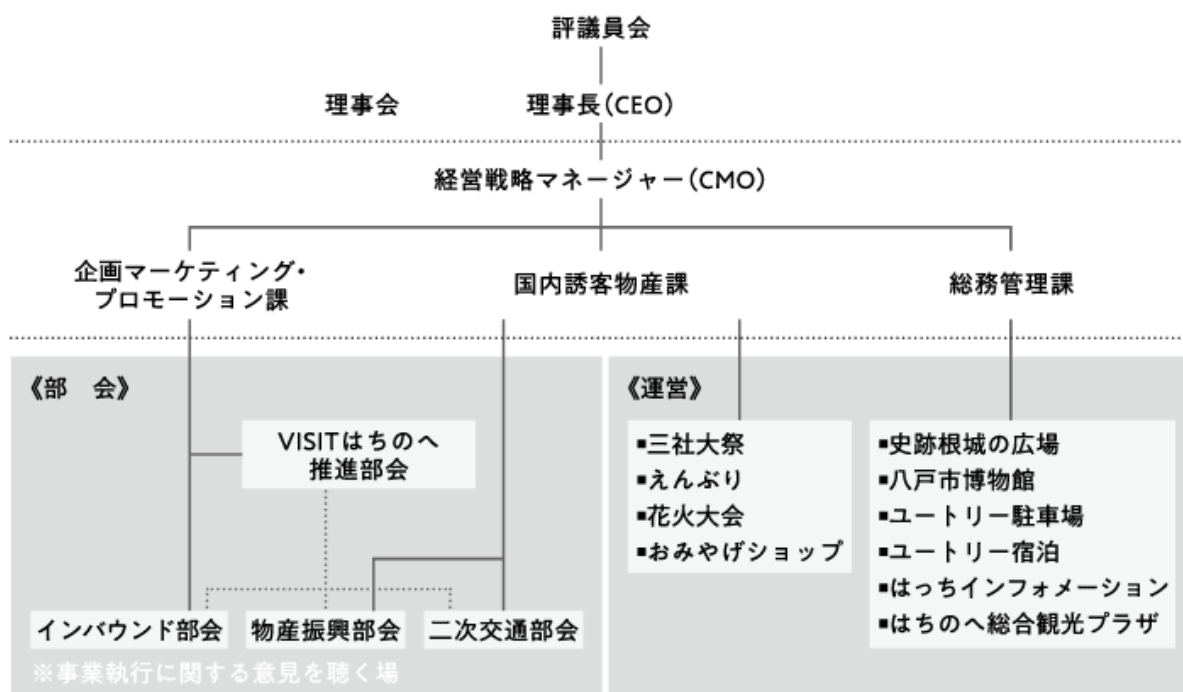
5 VISITはちのへについて

1. 団体概要



設立年月日	平成31年4月1日
代表者	理事長 塚原 隆市
職員数	85名
事業規模	7億1千6百万円

2. 組織図



3. 主な事業

(1) インバウンド事業

① エージェントプロモーション事業

ターゲットとする欧米豪の特に来訪可能性の高い国に、現地エージェントを配置。現地エージェントの知見等を活用し、効果的に現地メディアなどへ情報提供等を行うとともに八戸圏域へメディアを招請し、直接圏域の魅力を伝え、旅行商品造成につなげ外国人観光客の誘客促進を図る。

② インバウンド推進事業

VISITはちのへの外国人スタッフが圏域内にある魅力的な観光コンテンツを訪問・取材。外国語版SNSやInstagram等にて情報発信を行う。

(2) 国内誘客推進事業

① デジタルマーケティング事業

FacebookなどのSNSのページへ三社大祭等テーマとしたデジタル広告を配信。首都圏や近隣県の方々をターゲットとし、広告閲覧者をVISITはちのへホームページ内の関連するページへ誘導し、当圏域への誘客につなげるもの。

② 八戸三社大祭関連事業

三社大祭企画・運営、ポスター作成、臨時駐車場運営事業等を実施するもの。観覧席設置運営事業においては、今年度より観覧席販売について、新たにインターネットを活用した手法を導入し、予約者の利便性向上を図っている。

(3) 物産振興事業

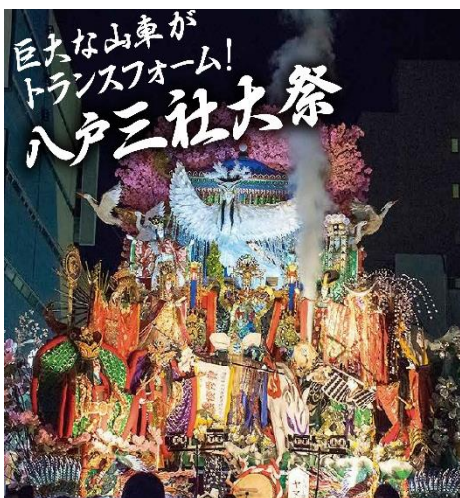
① 地域商社事業

八戸圏域の魅力的な四季折々の地場産品を、1つのパッケージにして首都圏のレストラン等へ配送する商流を構築。

② 展示即売事業

ユートリー1階展示即売所などでの圏域の地場産品を販売する事業。今年度より展示即売所にて「はちのへローカルマーケット」を実施。圏域の事業者が効果的なPRや展示即売ができるよう特設ブースを開設。1年を通じた出展ブースの設置と新商品PRなど圏域事業者支援のプラットフォームづくりに取り組んでいる。

※第1回目：6月15日・16日開催（ウニまつり・全国特産品フェア（今治タオル・ミカンジュース）



デジタルマーケティング広告



三社大祭ポスター